



北区認知症フレンドリーコミュニティ通信

北区では、認知症になってもそれまでの暮らしが尊重され、これまでどおり暮らしていけるまち「認知症フレンドリーコミュニティ」をめざした取組みをすすめています。
北区の認知症フレンドリーコミュニティづくりの活動について情報発信します。

Vol.16

4日間インターンシップとして4名の学生さんに 参加していただきました！！

4日間インターンシップとして4名の学生さんに参加していただきました。今回の認知症フレンドリーコミュニティ通信は学生さんに作成していただきましたので、ぜひご覧ください！

8月18日

「北区認知症フレンドリーセミナー 『認知症になってもはたらく！』」

DFCパートナーズ 徳田雄人さんに来ていただき、認知症のある方の「社会参加・はたらく」意義や事例について考えました。

つながり、役割、自立支援の3つの要素が、認知症の方にとっての「はたらく」になるのだと学びました。

認知症の方に合わせた「はたらく」を実現するために、選択肢を増やせるような仕組みづくりが、これから大切になっていくのだと感じました。



9月22日

「北区認知症本人のつどい」

認知症のある方が本人同士で集まり語り合う「北区認知症本人のつどい」に参加しました。

認知症ご本人や家族の方々と、不安な気持ち、趣味や日常の生活の話、これから挑戦したいことなどを共有しました。



認知症ご本人の率直な考えを聞くことができました。家族とは話しにくいことを、ご本人同士で話すことができる良い環境だと感じました。



9月13日

北区 認知症カフェ 検討会



グループワークで、職業や年齢の異なる様々な人と意見交換ができて、とても有意義でした。



北区内の認知症カフェの運営者を行っている情報提供・連絡会に参加しました。

北区内の個性豊かな認知症カフェの取り組みについて、知ることができました。その中でも、お灸体験ができる「ゆるつなカフェ」が印象的で、利用者の方の健康も意識した素敵なカフェだと思いました。

10月5日

「北区認知症サポーター養成講座」

認知症に関する正しい知識と理解を深めるために、職員向けに行っている「認知症サポーター養成講座」に参加しました。

事例を通して、認知症に伴う認知機能低下を正しく理解することが重要であり、偏見を減らすこともできるのだと学びました。グループワークで実体験を踏まえて認知症について考えることで、正しい理解を深めることができました。

